

---

# 空手部の日常

ニッペマン

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

空手部の日常

### 【Nコード】

N2157BA

### 【作者名】

ニッペマン

### 【あらすじ】

空手部シリーズとは、「Babylon Stage 27」『誘惑のラビリンス』第三章『空手部・性の裏技』に登場する、空手部トリオの日常を描いた作品である。

## ラーメンを食べに行くの巻（前書き）

大先輩でも分かる、名前の読み方講座。T D K R（田所）、M U R  
（三浦）、K M R（木村）、???（特別ゲスト）

## ラーメンを食べに行くの巻

チャイムくん「キンコンカンコン！（逼真）」

### 学校屋上

TDKR「MURさん夜中腹減んないすか？」

MUR「減らねーな」

TDKR「じゃけん、夜ラーメン食いにいきましょうね」

### 道中

TDKR「ぬわあああんもうつかれたもおおん」

MUR「ちかれた・・・（小声）」

KMR「まだ30mしか歩いてませんよ」

MUR「ラーメン屋までどのくらいかかるんだ？」

TDKR「3時間くらい（適当）」

MUR「おつ、そうか」

### 数分後

MUR「おいTDKRオ！全然つかないじゃねーか（憤怒）」

TDKR「あれーおつかしいな」

KMR「先輩、もしかして道に迷ったんですか？」

TDKR「ま、多少はね？」

### 数分後

MUR「もうすつげーつかれたゾ」

KMR「諦めて帰りましょうよ」

TDKR「なんだよ2人ともだらしねえな」

MUR「KMR・・・（マジギレ）」

MUR「おいKMRア、羽交い絞めにしろ」

KMR「はい」

???「（なにやってんだあいつら？）俺も仲間にいれ」

キキー！ドンツ！（迫真）

???「誰か轢いちゃったよ、やべえやべえよどうする・・・？」

TDKR「えっ？えっ？MURさ、MURさん勘弁してくださいよ」

MUR「じゃあ（腹に）ぶち込んでやるぜ」（震え声）

TDKR「ンアッー！」

TDKRはMURにボコボコにされて終了

## メダリンクをするの巻

TDKR「うちさあ、メダリンクあるんだけどやってかない？」

MUR「やりてーな」

TDKR「じゃけん、後で家に寄りましようね」

野獣邸

TDKR「あがつて、どうぞ」

MUR KMR「お邪魔しまーす」

TDKR「飲み物持ってくるから、適当に座ってまってて」

KMR「はい」

MUR「おつ、ベットの下にエロ本あったゾ」

KMR「MURさん勝手にイジっちゃまずいですよ」

MUR「そうだな（素直）」

TDKR「おまたせ！麦茶しかなかったけどいいかな」

KMR「いただきます」

TDKR「それじゃはじめよっか」

メダリンク接続

KMR「先輩達のメダロットってどんなのですか？」

MUR「ポッチャマ」

TDKR「射撃タイプウ（大嘘）」

KMR「それじゃあ僕はサポート型にしますね」

TDKR「じゃあさ、ちよつと相手検索するから」

MUR「おつ、見つかったみたいだな」

KMR「相手はTDN DB HTNって人達ですね」

TDKR「犬型とホツケ型と幽霊型か！これもう勝てるかわかんねえな」

ロボット開始

MUR「よしぶち込んでやるぜ」ねらいうち攻撃 レーザー>  
>>HTN「ウィヒ！」回避

TDKR「ほらいくど〜」がむしやら攻撃 ソード>>>TDN「アッー！」右腕破壊 脚部に貫通

KMR「MURさん、いきなりレーザーは当たりませんよ」索敵行動 レーダー

TDN「オフッ！」選択したパーツは破壊されている

DB「ヴォー」うつ攻撃 ライフル>>>TDKR「ファッ!？」

クリティカル 頭部破壊 機能停止

HTN「ウィーヒ！」隠蔽行動 ステルス

MUR「ちかれた・・・」ねらいうち攻撃 レーザー>>>TDN「アッアッ・・・」脚部破壊 頭部に貫通 頭部破壊 機能停止

ロボット終了

MUR「楽しかったゾ〜 (ご満悦)」

KMR「先輩をリーダー機にしなくてよかったですね」

TDKR「あつ、KMRさ、俺がパーツ手に入れた時チラチラみたよな？欲しけりややるよ」

KMR「ありがとうございます」

三人は立教トリオに勝利して終了

## 釣りをするの巻

チャイムくん「キンコンカンコン（迫真）」

12:00 学校屋上

TDKR「フー つかれましたね」

MUR「腹減ったな」

KMR「昼食にしましょう」

MUR「KMRア！今日はなんだ？」

KMR「おにぎり三種とウィンナーと玉子焼きですよ」

TDKR「おっ、うまそうじゃーん。1個いただき」

KMR「先輩、行儀悪いですよ」

TDKR「硬いこというなよ」（モグモグ）

「そんなこんなでご飯を食べ始める3人」

KMR「MURさん、さっきからなに見てるんですか？」

MUR「ん？これか、道に落ちてたんだよ」

「そう言って一冊の雑誌をKMRに差し出す」

KMR「月間、釣りロマン爺ですか」

MUR「そうだよ、おれも釣りしてえな」

KMR「僕も釣りの事ないんで、興味ありますね」

TDKR「うちにい、釣り道具あるんすけど、夜いきます？」

MUR「おっ！いきてえな」

TDKR「じゃけん、後でいきましょうね」

20:00 釣り場

MUR「暗いな、おいKMRア！足元に気をつけるよ（アドバイス）」

KMR「はい」

TDKR「竿が2本しかなかったけどいいかな？」

KMR「僕は魚アレルギーなので（大嘘）、MURさんどうぞ」



MUR「おつ、そうか？よし釣ってやるぜ」

「釣りを始めてしばらく沈黙する3人、すると遠くで争うような声が聞こえてくる」

「???」「やだ！やだ！小生やだ！ライダー助けて！」

「???」「誰が大声出していいつつたコラア！！飛び込めよ早くオラア！（腹ライダーキック）」

ザッバーン！（迫真）

「???」「溺れる！溺れる！」

MUR「おつ、引いてるゾ」

KMR「わあ、MURさん、がんばってください」

MUR「これは大物だゾ」

ザッバーン！（迫真）

KMR「針が引つかかってただけでしたね」

MUR「ポツチャマ・・・」

「落ち込むMURを尻目に、今度はTDKRに引きが」

TDKR「あーいいいいいいいいいいよ。大物きてる、はつきりわかなだね」

KMR「MURさん、落ち込んでる場合じゃないですよ。かなりの大物みたいです！」

MUR「おつ！TDKRオ、がんばれよ」

TDKR「（魚）暴れんな！暴れんなよ！」

TDKR「引きスギイ！（竿が）イクイクイク！ンアッー！！」

ザッバーン！（迫真）

「???」「ゲホッ！ゲホッ！オエッ！オエッ！ハッハッハッ・・・（過呼吸）」

TDKR「デデドン！（驚愕）」

KMR「小学生・・・？、にしては老けてますね」

MUR「海坊主が釣れたな」（ご満悦）」

3人は人命救助して終了

## バイトするの巻 ファミレス編

### 学校屋上

KMR「TDKR先輩、また遅刻ですね」

MUR「そうだな」

KMR「予想だと、そろそろ来る頃だと思います」

「KMRの予想通り到着するTDKR」

TDKR「また遅刻しちゃいましたよ」

KMR「これで893日連続遅刻ですね」

MUR「遅刻大会があれば、優勝だな」

TDKR「ところでMURさん、金欲しくないですか？」

MUR「ほしいな」

TDKR「ですよ、いいバイトあるんだけど、いかない？」

KMR「ホモビ男優とかじゃないですよ？」

TDKR「ち、ちがうよ、KMRのバカ！、あれだよ、あの、そう  
だ、ファミレスのバイト」

KMR「ファミレスですか・・・」

MUR「簡単そうだな、やるか」

TDKR「じゃけん、店長に連絡しとくんで、後でいきましょうね  
」

### ファミレス

TDKR「この2人が連絡しといたMURさんとKMRです」

MUR「KMR「よろしくお願いします」

店長「おう、よくきたな、早速着替えるんだよ、早くしろよ」

### 更衣室

KMR「僕達はなんの仕事するんですかね？」

TDKR「KMRが厨房で、MURさんがロビーで接客」

MUR「お、そうか」

KMR「厨房ですか・・・。料理覚えといてよかった」

TDKR「そいじゃ2人ともがんばってね」

「そう告げると去っていくTDKR」

KMR「TDKR先輩どこいったんですかね？」

MUR「さあな、仕事するぞ」

「それぞれが持ち場に就く」

## 厨房

おじさん「なにトロトロやってんだオラア！（もぐもぐ）」

KMR「は、はい！すいません」

おじさん「オラア！もっとスピード上げろ！（ゴクゴク）」

KMR「は、はい！すいません」

店員Y「おい！お前なにやってんだ！」

KMR「えっ？えっ？」

おじさん「やべ（全力逃走）」

店員Y「またあのおじさんかぁ・・・壊れるなあ」

KMR「今のおじさん、従業員じゃないんですか？」

店員Y「彼ね、よく忍び込んで勝手に飲み食いしてんだよ」

KMR「えっ、それは（ドン引き）」

その頃ロビーのMURは

店員K「それじゃ、手本見せるから」

MUR「おう」

店員K「お客様、ご注文はお決まりでしょうか？」

客「ぼくひで」

店員K「かしこまり！」

店員K「次は君がやってみよっか」

MUR「おう」

MUR「お客様、ご注文はお決まりでしょうか？」

客「ねねね、なんかオススメってある？」

MUR「ライス」

客「じゃあ、スープカレーで」

MUR「かしこまり！」

「注文を厨房のKMRに伝える」

MUR「KMRア！スープカレー1人前」

KMR「はい、よろこんで！」

「仕事を順調に終えた2人は給料を受け取りに行く」

店長「おう、2人ともご苦労さん、帰っていいぞ」

KMR「ちよつと待ってくださいよ！給料は？」

MUR「そうだよ（便乗）」

店長「なに言つてんだ？給料ならハゲた奴に渡しておいたぞ」

KMR「あのハゲステロイダー、ハメやがったな・・・クソツタレ  
！（マジギレ）」

MUR「これはゆるせねえな、そうだろKMRア？」

KMR「ああ、ぶち殺してやる」

野獣邸に乗り込む2人

インターホンくん「ピンポン！（迫真）」

YJ妹「はい、どちらさま？」

KMR「KMRです、お兄さん帰ってきてる？」

YJ妹「うん、部屋でゲームやってるよ。入って、どうぞ」

「家にあがり、TDKRの部屋に向かう2人」

MUR「デデドン！（ノック音）」

TDKR「うえーい」

「扉を開けてTDKRが顔を出した途端、MURの正拳突きが顔面に炸裂する」

TDKR「ンアッー！！（悶絶）」

MUR「おう、TDKRO！給料貰いにきたゾ！」

TDKR「もう使っちゃいましたよ（半笑い）」

KMR「ふざけんじゃねえぞ、オラア！（腹5連釘パンチ）」

TDKR「ンアッ！ンアッ！ンアッ！ンアッ！ンアッー！！！！

（気絶）「

MUR「オラオラ、おねんねするには早いゾ（顔パン）」

TDKR「ぬわあああん勘弁してくださいよおおおん」

YJ妹「おらおらしねしねー！（金玉パン）」

TDKR「ファッ！？（絶命）」

どさくさに紛れて参加するYJ妹

KMR「容赦ないな・・・」

MUR「ポツチャマ・・・（恐怖）」

YJ妹「ついやっちゃったけど、ま、いいよね」

TDKRは妹にトドメをさされて終了

## デパートへ行くの巻

チャイムくん「キンコンカンコン！（迫真）」

12:00 学校屋上

TDKR「ぬわあああんつかれたもおおん」

KMR「はいはい」

MUR「おう、昼飯食おうぜ」

TDKR「プシュッ！ゴクッゴクッ！プハッ」

KMR「先輩、学校にビールもってこないでくださいよ」

TDKR「堅いこというなよ」（ゴクゴク）」

MUR「おい、KMRア！（唐突）今日の弁当はなんだ？」

KMR「MURさんの好きな、から揚げです」

MUR「いいゾーこれ（ご満悦）」

TDKR「から揚げとビール合いスギイ！」

KMR「外で飲み食いするつてのがまたいいですよね」

MUR「KMRもわかってきたじゃねえか」

TDKR「あ、そうだ（唐突）帰りに育毛剤買いに行くんだけど、  
2人もこない？」

KMR「特に予定もないですし、いいですよ」

MUR「そうだな（便乗）」

TDKR「じゃけん、帰り寄りましょうね」

19:00 デパート

KMR「育毛剤は医薬品コーナーですかね」

MUR「ついでにガムも買つてくか」

「医薬品コーナーでガムと育毛剤を購入する」

KMR「そうだ、今日はジャンプの発売日ですよ」

MUR「おっ、忘れてたな」

KMR「本屋寄ってきましょうよ」

「本屋に到着して、しばらく立ち読みをする3人」

KMR「そろそろ、お腹空きましたね」

MUR「そうだな」

TDKR「あ、MURさん、なんかあ地下にい、タダで飯が食える所があるらしいですよ」

MUR「タダで食えるのか？ならいきてえな」

TDKR「じゃけん、いきましようね」

19:30 デパ地下

TDKR「ここ」

KMR「さすがに活気がありますね」

MUR「おまえら、こっちきてみる！ウィンナー食い放題だぞ」

TDKR「MURさん！こっちにはビールありますよ」

MUR「デパ地下にはなんでもあるな」

KMR「2人共、その辺にしていたほうが・・・」

TDKR「なにいつてんだよKMR、お前も食うんだよ」

「KMRも試食コーナーを食い荒らし始める」

「??」「お客さん、そろそろ買ってください、オナシヤス！」

TDKR「まだ味がよくわからないんだよね、もうちょっと飲ませて」

「??」「食ってばっかないで買えよオラァ！」

MUR「お兄さん、これすっげーうまいぞ」

「??」「お兄さん？君なかなか見所あるね」（ご満悦）もっと食べていいよ」

KMR「これ美味しいな・・・。店員さん、これいくらです？」

「??」「30本（一袋）で5万！」

KMR「ご、5万！？（ブリュリュ！ビチュバチュ！）」

「驚きのあまり、スープカリーを量産するKMR」

KMR「ああ・・・。ト、トイレ・・・」

「トイレに向かうKMR。そこへ戻ってくる2人」

MUR「あれ？KMRどこいった？」



TDKR「店員さん、KMR知らない？」

???「KMRって人かわかんないけど、ワッツってトイレに向  
かってた人ならいたね」

MUR「一応トイレいつてみるか」

TDKR「ちょうど、おしっこしたかったんすよ」

「トイレへ」

MUR「おいKMRア！いるか？」

TDKR「先輩そっち女子トイレっすよ」

MUR「お、そうだな」

TDKR「俺が中見てくるんで、MURさん、適当にフラフラして  
てくださいよ」

MUR「おう、まかせたぞ」

21:00 男子トイレ内

TDKR「KMRア！いたら返事しろー、いないな（ジョロロロロ  
ロロ）」

KMR「せ、先輩！良いところにきてくれました」

TDKR「お、どうしたー？（ジョロロロロロロ）」

KMR「紙がないんで持ってきてもらえますか？」

TDKR「どうすっかなー（ジョロロロロロロ）」

KMR「先輩！お願いしますよ」

TDKR「しょうがねえな、ちよつとまってて（ジョロロロロロ  
ロロ）」

「小便を済ませ外にでる」

TDKR「さーて、なにするんだったかな（ド忘れ）」

TDKR「そうだ、MURさん探さなきゃ」

「探索する事1時間」

22:00 ペットコーナー

TDKR「MURさん、こんなとこにいたんすか」

MUR「お、TDKRオ、お前も見てみるよ、かわいいゾ」

TDKR「なんかもう疲れちゃったし、そろそろ帰りましょよ」

MUR「そうだな、そうするか」

22:10 デパート前

TDKR「いやー、今日はいいい買い物しましたね」

MUR「タダで飯も食えたしな」

TDKR「そいじゃ、MURさんまた明日」

MUR「おう、気をつけて帰れよ」

（同時刻）

KMR「おーい・・・」

KMRはトイレで孤立して終了

## 聖夜の裏技

12月24日

TDKR「MURさん、夜中、海いきたくないですか？」

MUR「いきたくねーな」

TDKR「じゃけん、明日いきましようね」

KMR「明日は用事があるので、僕は遠慮します」

MUR「俺も明日はいけないな（便乗）」

TDKR「デデドン！（絶望）」

翌日 ある屋台

TDKR「おやじ、ビール！ビール！」

糞親父「クリスマスだったのに、あんちゃん1人か？」

TDKR「皆予定があると言ってたよお グビッグビッ」

糞親父「そんじゃ、後ろにいる2人はどちらさんだ？」

TDKR「ヌッ？」

「そつと振り返る」

MUR KMR「メリークリスマス！」

TDKR「ファッ！」

「驚いて口から色々飛び出す」

KMR「先輩、汚いっす」

MUR「おやじ、俺にもビール！」

糞親父「あいよ」

TDKR「2人とも予定があつたんじゃ？」

KMR「日にちを間違えてました」

MUR「俺もそんなところだ（便乗）」

「日本酒が運ばれてくる」

MUR「ん？おやじ！頼んだのはビールだぞ！」

糞親父「そいつぁワシのおごりだ」

MUR「おっ、そうかー（ご満悦）今日はとことん飲むぞ」

KMR「僕も付き合いますよ」

TDKR「アオン！オオン！（号泣）」

3人は朝まで飲み明かして終了

## 聖夜の裏技（後書き）

先輩！これ去年のクリスマスネタですよ！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2157ba/>

---

空手部の日常

2012年1月5日19時51分発行